

昭和十年度大會順序

- 一、閉會の辭
- 一、組合歌合唱
- 一、議長選舉
- 一、議長挨拶
- 一、副議長並に書記選任
- 一、各種委員の任命
- 一、祝辭祝電の披露
- 一、資格審査委員會報告
- 一、議案採擇委員會報告
- 一、一般報告
- 一、會計報告
- 一、議事
- 一、宣言發表
- 一、役員詮衡委員會之報告
- 一、役員代表挨拶
- 一、閉會の辭

製鐵産業の國家統制徹底化の件

理由

製鐵産業は國家産業の基本をなし且つ國防上重要なものであることは言を俟たぬ。故に、その經營は公益の精神に則し國營とし國家の嚴重なる監視統制下に置くべきである。

しかるに製鐵産業の國家統制を期すべく設立された日本製鐵株式會社は、現政府の鐵鋼政策の變更により即ち、非合同民間會社に對する増産擴張の設備認可のために著しくその設立の意義は失はれて來た

かゝる事は軍需景氣の退却に當つて、生産過剩に落入り、生産制限の必要に當面した時、再び業界混亂の危機を招來することを豫期せねばならぬ

即ちかゝる場合鐵國策遂行機關として設立された日鐵會社が、徒らに營利を追ふて膨張した民間會社の尻ぬぐいをさせられることになることは、過去の事實に徴して明らかである。

換言すれば、日本製鐵産業の中軸をなす八幡製鐵所が過大なる犠牲を課せられ、強いてはその犠牲は我等の頭上に轉嫁されるのである

故に我等は製鐵産業の健全性確保と従業員利益擁護のため、日鐵を中心とし民間製鐵會社に嚴重なる國家統制を徹底化すべきことを主張する、と共に労働階級の利益を考慮せざる一方的統制に落入ることを避くるために、官廳、軍部、事業主代表、専門家並に従業員代表をもつて製鐵産業委員會を設置し公正なる産業統制を計ることを要望する。

實行方法

新役員會は速やかに具体的方針を樹立し、日鐵本社、及び關係當局に向つて之が實現のため努力すること。